

# 研修便り



研修部  
平成30年  
7月9日  
vol.6

## 思考を深める集団解決

先日の研修、ありがとうございました。児童の思考を深めるためには、どのような集団解決の方法があるのか、具体例を挙げてグループワークしていただきました。

今回の理論研修Ⅱを受けて、集団解決の具体例を簡単にまとめましたのでご覧ください。また、ぜひ話し合われた内容を参考に、ご自身の指導にも生かしていただければと思います。

### 基本(大切)

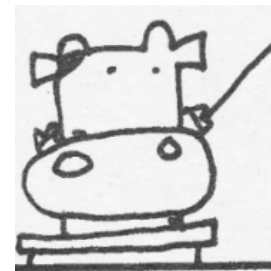
- ・ 一人一人が自分の考えをしっかりともつ。(個人思考に入る前の見通しの焦点化)
- ・ 大事な言葉は児童から。まとめの言葉は「板書の中」に。
- ・ 知識・技能を繋ぐ視点をもつ。(教師側)
- ・ 考えを広げる→比較する(自分の考えとどこが違う、なぜちがう)→深まる。  
→教師が視点を絞る。
- ・ 多様な考え・方法の違い 知る→理解→深まる 質問できると、さらにいい!!
- ・ 児童が、考えに対して質問できるようにする。 →教師が手本を示す。
- ・ みんなで説明し合うこと!

### 教師側アプローチ

- ・ 誤答から学ぶ(どこが違うか、どうすればよいかを考え) 気づき、理解が深まる。
- ・ ゆさぶる(いじわるな問い返し、リアクションは薄く) →概念破壊!
- ・ 指名の順番を考えておく。

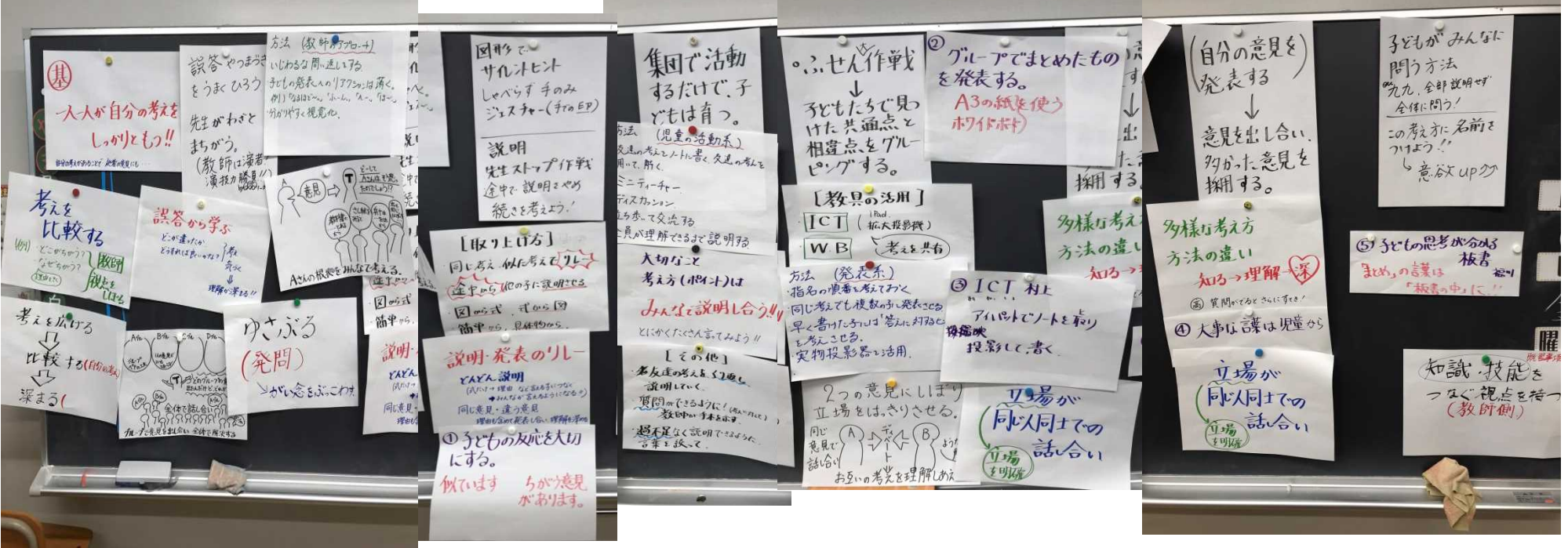
### 方法・伝え方・活動

- ・ しゃべらず、ジェスチャーで伝える。
- ・ 説明・発表のリレー 途中から他の子に説明させる(図から式、具体物から式 など)
- ・ 同じ考えでも複数の子。
- ・ 全員が理解できるまで説明。
- ・ ディベート(2つの意見にしぼり、立場をはっきりさせる。) →互いの意見を理解できる。
- ・ 友達の考えを繰り返し、説明していく。
- ・ グループで意見を出し合い、全体で解決。
- ・ Aさんの根拠をみんなで考える。
- ・ 立ち歩いて交流、ミニティーチャー
- ・ 早く終わった子は、「問題を解決するためのヒント」を考えさせる。



### 発表系

- ・ 同じ考え、バラバラ、グループでまとめたものをそれぞれ発表 (A3の紙、ホワイトボード)
- ・ 実物投影機に、児童のノートを映して説明。
- ・ タブレットで写真を撮って、TVに映す。



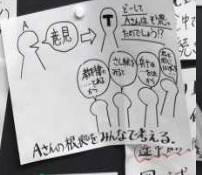
**(基)**  
一人が自分の考えを  
しっかりと!!

誤答やつまずき  
をうまくひろく  
先生がわざと  
まちがう。  
(教師は落着  
く) 落着いて  
落着いて

方法 (教師がプロ+)  
いじわるな問をこたえ  
子どもの発表へのリアクションは薄く、  
例) "はいはい", "うん", "えー", "ほー"  
のかけずく視覚化。

考えを  
比較ね  
例) "ここがどう?  
なぜかどう?  
(理由)"  
教師  
親とを  
比べ

誤答から学ぶ  
どこが違ったか  
どが正しいか  
なぜか  
理由を導き出す



考えを広げる  
↓  
比較する(目的別)  
↓  
深まる!



ゆさぶる  
(発問)  
↓  
よから念をぶこたえ

図形で  
サレトビト  
レバらず手のみ  
ジスター(フラEP)  
説明  
先生ステップ作戦  
途中で説明をやめ  
続々と考えよう!

集団で活動  
するだけで子  
どもは育つ。  
方法 (児童の活動系)  
交流の考えをト書きと  
書いて、解く。  
ミニティーチャー  
フェイスコン  
を交えて交流する  
全員が理解できるように説明する

【取り上げる】  
同じ考え 似た考えを  
途中から 他の子に説明させる  
図の式 式から図  
簡中から 見極めから

大切なこと  
考え方(ポイント)は  
みんな説明し合う!!  
とにかくたくさん言ってみよう!!

説明・発表のリレ  
YAYAN説明  
(A) → 理由、なぜか(手口)  
→ (B) → 理由、なぜか(手口)  
同じ意見・違う意見  
理由の共通点を見出し、理解を深める  
① 子どもの反応を大切に  
する。  
似てはます ちがはる  
があります。

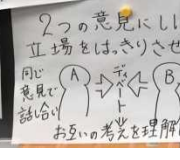
【その他】  
若友達の考えをよく聴く  
説明していく  
疑問点(どうして?) (なぜ?)  
教師の手本を  
超不足なく説明できるように  
言葉を変えて

ふせん作戦  
↓  
子どもたちで見  
つけた共通点と  
相違点をグル  
ーピングする。

② グループでまとめたもの  
を発表する。  
A3の紙を使う  
ホワイトボード

【教具の活用】  
ICT (1台用 拡大投影機)  
WB 考えを共有

方法 (発表系)  
指名の順番を覚えておく  
同じ考えでも複数の人が発表する  
早く書けたら白紙に答えておける  
も考えこぶ。  
実物投影器の活用。



③ ICT 利用  
タブレットでノートと取り  
揃え映  
投影して書く

2つの意見にしぼり  
立場をはきりさせる。  
同じ意見は  
話し合い  
お互いの考えを理解しあえ

多様な考え  
方法の違い  
知る → 理解 → 深

④ 大事な議は児童から  
アポイントメントを  
確認して書く

立場が  
同じ同士での  
話し合い  
立場を明確

(自分の意見を)  
発表する  
↓  
意見を出し合い  
多様な意見を  
採納する。

多様な考え方  
方法の違い  
知る → 理解 → 深

④ 大事な議は児童から

立場が  
同じ同士での  
話し合い  
立場を明確

子どもがみんなに  
問う方法  
九九、全部説明せず  
全員に問う!  
この考えおに名前を  
つけてみよう!  
↓  
意欲UPの

⑤ 子どもの思考内容を  
板書  
みんなの言葉は  
「板書の中に」

④ 大事な議は児童から

知識・技能を  
つなぐ視点を培つ  
(教師側)